

高齢者のがん診療に関する情報の普及・啓発に関する研究

研究分担者 水谷 友紀 杏林大学医学部 腫瘍内科学 講師

研究要旨 老年腫瘍学は、世界でも比較的あたらしい領域である。日本では、老年腫瘍学に関するデータを集約する場所がなかったため、医療者は診療に必要な情報を得るのに苦労していた。また、がんを持った高齢患者にとって何が適切な医療なのか、については腫瘍学だけでなく老年医学の考え方からも学ぶ必要があった。さらに、治療方針を決めるのは医者だけでなく、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、作業療法士、メディカルソーシャルワーカーなど多職種の医療従事者が協働する必要があるが、これらが一堂に会する場所がなかった。このため、このため、2021年4月に、任意団体として、日本老年腫瘍研究会（Japan Geriatric Oncology Society; JGOS）を設立し、定期的に教育講演を実施している。その中で高齢者総合的機能評価を推奨しているが、マンパワー不足から日常診療では行われていないことが判明したため、高齢者総合的機能評価アプリの開発を行った。

A. 研究目的

老年腫瘍学は、世界でも比較的あたらしい領域である。日本では、老年腫瘍学に関するデータを集約する場所がなかったため、医療者は診療に必要な情報を得るのに苦労していた。また、がんを持った高齢患者にとって何が適切な医療なのか、については腫瘍学だけでなく老年医学の考え方からも学ぶ必要があった。さらに、治療方針を決めるのは医者だけでなく、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、作業療法士、メディカルソーシャルワーカーなど多職種の医療従事者が協働する必要があるが、これらが一堂に会する場所がなかった。このため、このため、2021年4月に、任意団体として、日本老年腫瘍研究会（Japan Geriatric Oncology Society; JGOS）を設立し、定期的に教育講演を実施することで高齢者のがん診療に関する情報の普及・啓発をすることことを目的として、本研究を実施した。また、その中で高齢者総合的機能評価を推奨しているが、マンパワー不足から日常診療では行われていないことが判明したため、高齢者総合的機能評価アプリの開発を行うこととした。

B. 研究方法

老年腫瘍学の専門家を中心に、腫瘍科医、

外科医、精神腫瘍科医、疫学者、理学/作業療法師、情報提供の各専門家などの老年医学または腫瘍学に精通した多職種が参画し、高齢者のがん診療に関する情報の普及・啓発をすための勉強会を検討した。また、認知機能障害をスクリーニングする Mini-cog アプリの開発を行った。

（倫理面への配慮）

本試験は患者を対象とした研究ではないため、「臨床研究法」や「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の適用範囲外である。

C. 研究結果

JGOSでは、2022年8月27日および2023年3月25日に多職種を対象とした老年腫瘍学のWEB勉強会を開催した。そこでの議論を動画にして会員専用のホームページに掲載した。

また、Mini-cog アプリの開発を進め、日常診療および臨床研究で使用できまでの状態にした。

D. 考察

我々は日本老年腫瘍研究会のWEB勉強会を開催し、学際的な情報発信ができた。勉強会

では多職種から積極的な意見があり、教育的な実績だけでなく、老年腫瘍学に興味をもつ医療者を掘り起こすことにも成功した。一方、新型コロナ禍のため対面式の勉強会ができなかったため、参加者全員からの意見を引き出すことができなかったことが反省点である。今後、対面式の勉強会を開催し、より積極的な教育活動ができればと考えている。

また、Mini-cog アプリについては、当初、AIを用いて自動的に判定できるようにするつもりであったが、特に時計描画の判定がAIのみでは正確性に欠けると判断したため、AIによる判定は参考までとして、医療者がデータを確認のうえ、最終判定するという仕様とした。この仕様を取り入れたことにより、減じてでも日常診療や臨床研究で Mini-cog アプリを使用できるまでに至った。今後は、AIの精度を高めること、このアプリをどのように広めるかが課題である。

E. 結論

高齢者のがん診療に関する情報の普及・啓発を目的として、日本老年腫瘍学研究会を設立し、そのホームページにより情報発信をした。また、Mini-cog アプリを開発することにより、高齢者機能評価を日常診療に導入することができた。これらの活動を通して、高齢がん患者さんが「がん」とともに生き、豊かな人生を送れるようになることを祈っている。

F. 健康危険情報

特記すべきことなし

G. 研究発表

論文発表

1. 未定

学会発表

1. 未定

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

特記すべきことなし